

プレ公示案件への質問回答

【競争参加者様へ：留意点】
プレ公示段階での質問回答での回答内容は、企画競争説明書／入札説明書の段階で変更の可能性があります。

※掲載方法を公示予定日が早い順に案件ごとにまとめて掲載いたします。新たに掲載いたしました質問回答についてはセルを水色にしております。

2026年10月7日 更新						
公示予定日	調達管理番号	案件名	担当部・課	質問内容	回答	回答日
2026年10月7日	26a00497000000	モンゴル国学校給食行政能力強化プロジェクト	人間開発部保健第二グループ	業務管理グループの適用案件となりますか。	適用予定です。	2026年9月16日
2026年10月7日	26a00720000000	アルメニア国防災分野における情報収集・確認調査（QCBS—ランプサム型）	東・中央アジア部中央アジア・コーカサス課	本案件は業務管理グループ、若手加点对象となりますでしょうか。	総合評価落札方式のため想定しておりません。	2026年9月28日
2026年10月7日	26a00720000000	アルメニア国防災分野における情報収集・確認調査（QCBS—ランプサム型）	東・中央アジア部中央アジア・コーカサス課	本案件は開発政策借款（DPL）の形成を念頭にすることとありますが、DPLの実施以外に想定されているスキーム（技術協力、開発調査等）はありますか。	災害対策インフラ整備事業（プロジェクト型円借款）の形成も想定しています。なお、円借款を主要な出口とするものの、技術協力についても防災投資を促進する円借款の効果の最大化に資することを前提に検討可能とする予定です。	2026年9月28日
2026年10月7日	26a00732000000	インド国テランガナ州生態系回再生・生物多様性保全事業協力準備調査	南アジア部南アジア第1課	●今回の協力準備調査において、JICAとして特に重視されている論点・成果は何か ●本調査で想定されるインフラ・施設関連の検討は、どのような種類・粒度を想定しているか 特に、施設計画・概略設計・積算等について、どの程度のtechnical / engineering expertise が求められる想定か ●Telangana州政府・森林局等との現地調査や協議について、どの程度の現地対応を想定しているか	●本調査においてJICAが特に重視する論点・成果については、10/7公示（予定）内容をご参照ください。 ●本調査で想定されるインフラ・施設関連検討の詳細については、10/7公示（予定）内容をご参照ください。なお、大規模・複雑なインフラ、施設の建設は想定されていません。 ●業務実施計画書をご提出頂いたうえで、概ね3-4回の現地渡航を想定しております。	2026年9月25日
2026年10月7日	26a00753000000	スリランカ国ケラニ川流域における自然資本管理に係る情報収集・確認調査（QCBS—ランプサム型）	地球環境部森林・自然環境保全グループ	本案件では10.12人月が想定されており、類似の情報収集・確認調査と比べて多い印象ですが、その理由はありますか。	調査期間が比較的短いですが、適切な成果を上げるために人月是一般的な情報収集・確認調査より多めに設定しています。なお、流域全体を網羅的に現地調査することは想定しておらず、机上調査により仮説（優先課題と協力の枠組み案）を整理した上で、現地でその仮説に基づき重点的な調査を行う想定です。	2026年10月5日
2026年10月7日	26a00753000000	スリランカ国ケラニ川流域における自然資本管理に係る情報収集・確認調査（QCBS—ランプサム型）	地球環境部森林・自然環境保全グループ	調査は必ず2月26日までに終了する必要があるか。	はい、2月26日までに終了する必要があります。	2026年9月24日
2026年10月7日	26a00753000000	スリランカ国ケラニ川流域における自然資本管理に係る情報収集・確認調査（QCBS—ランプサム型）	地球環境部森林・自然環境保全グループ	調査を通じて、案件案をどの程度まで具体化することを想定していますか。	案件の背景、目標、成果、活動等を含む案件概要（案）を作成し、具体的な協力内容が分かる程度まで整理することを想定しています。なお、案件案は一つに絞らず、複数の選択肢を提示することも可能です。	2026年9月24日
2026年10月7日	26a00754000000	アフリカ地域（広域）インベストメント&イノベーションラボ（国際機関との連携円借款促進）	アフリカ部アフリカ円借款課	業務委託者と受託者の間の役割と責任の境界線（例えば、国際機関（AfDBや世界銀行）等とのコミュニケーションにおいて、受託者が主体的にフロントに立って折衝や調整まで行うことが求められるか）を、ご教示いただけますでしょうか。	原則、方針決定等においてはJICAが主体的に対応しますが、国際機関等との日々のコミュニケーションや、案件発掘のための協議等では受託者が積極的にフロントに立ち、情報収集していただくことを期待します。	2026年9月24日
2026年10月7日	26a00754000000	アフリカ地域（広域）インベストメント&イノベーションラボ（国際機関との連携円借款促進）	アフリカ部アフリカ円借款課	求められる専門性として、「国際機関との連携・協調融資」に加え、特定のセクター知見が求められる、または、知見があることが望ましい場合など、その専門性をご教示いただけますでしょうか。	DX・ジェンダー主流化・気候変動対応等の推進を求める予定のため、これらの専門性があるとより望ましいです。ただし、これらの専門性がないことが案件受注を妨げるものではないかと考えます。	2026年9月24日
2026年10月7日	26a00754000000	アフリカ地域（広域）インベストメント&イノベーションラボ（国際機関との連携円借款促進）	アフリカ部アフリカ円借款課	インベストメント&イノベーションラボの想定される機能として、例えば、世界銀行ののPrivate Sector Investment Labのような機能を想定されてはいかがでしょうか。または、AfDB・世銀との連携を強化するための実務的な事務局・案件形成支援機能となりますでしょうか。	本業務における「Africa Investment and Innovation Lab」は、世界銀行のPrivate Sector Investment Labのような民間企業CEO等による助言・提言機能を主たる目的とするものではありません。JICAが、アフリカ開発銀行及び世界銀行との間の戦略的連携を中心に、そこから生じる革新的な取組みを構想し実装するための実務的な枠組みとお考えください。日常的なコミュニケーションの促進、協調融資案件の形成支援、協調融資案件やプログラムをベースとする革新的な取組みの検討と初期的の試行実施、協力パイプライン管理、共同イニシアティブの企画・運営等をJICAが実施するうえでの各種支援機能を主な業務として想定しています。なお、協調融資やプログラム形成に係る中長期的な協力戦略の検討や、新たな協力枠組みの提案等、戦略レベルでの連携強化に資する活動も一部業務範囲に含まれます。	2026年9月24日
2026年10月7日	26a00754000000	アフリカ地域（広域）インベストメント&イノベーションラボ（国際機関との連携円借款促進）	アフリカ部アフリカ円借款課	「Investment and Innovation Lab」として、通常の事務局支援以上に期待する役割は何でしょうか。	JICAが、アフリカ開発銀行及び世界銀行との間の戦略的連携を中心に、そこから生じる革新的な取組みを構想し実装するための実務的な枠組みとお考えください。日常的なコミュニケーションの促進、協調融資案件の形成支援、協調融資案件やプログラムをベースとする革新的な取組みの検討と初期的の試行実施、協力パイプライン管理、共同イニシアティブの企画・運営等をJICAが実施するうえでの各種支援機能を主な業務として想定しています。なお、協調融資やプログラム形成に係る中長期的な協力戦略の検討や、新たな協力枠組みの提案等、戦略レベルでの連携強化に資する活動も一部業務範囲に含まれます。	2026年9月24日
2026年10月7日	26a00754000000	アフリカ地域（広域）インベストメント&イノベーションラボ（国際機関との連携円借款促進）	アフリカ部アフリカ円借款課	2）戦略レベルに係る支援に関して、想定する成果物がありましたらご教示頂けますと幸いです。	具体的な成果品は報告書となりますが、主に3）の協調融資業務における協調融資額、形成案件数、協力案件数などをもとに成果を図る想定です。	2026年9月24日
2026年10月7日	26a00754000000	アフリカ地域（広域）インベストメント&イノベーションラボ（国際機関との連携円借款促進）	アフリカ部アフリカ円借款課	3）具体的な協調融資、ODA事業等にかかる案件企画・実施に係る支援に関して、調整補助中心か、提案・案件発掘まで期待されるか、ご教示頂けますと幸いです。	案件提案・案件発掘までを期待しています。具体的な案件の方向性等はJICAより指示し、その内容に沿って案件を検討いただくことを想定しています。	2026年9月24日

公示予定日	調達管理番号	案件名	担当部・課	質問内容	回答	回答日
2026年10月7日	26a00754000000	アフリカ地域（広域）インベストメント &イノベーションラボ（国際機関との連携円借款促進）	アフリカ部アフリカ円借款課	Af DB向けと世銀向けで、期待する支援内容に違いはありますでしょうか。	基本は同じ支援内容を想定しています。他方、AfDB、世銀それぞれの重点分野や、戦略策定・案件形成のメカニズムを理解したうえで協調融資を提案する必要があるため、そうした組織ごとの違いは意識していただく必要があります。	2026年9月24日
2026年10月7日	26a00754000000	アフリカ地域（広域）インベストメント &イノベーションラボ（国際機関との連携円借款促進）	アフリカ部アフリカ円借款課	現時点で念頭にある協調融資案件や有望分野があれば、差し支えない範囲で教えていただけますでしょうか。	DX・ジェンダー主流化・気候変動対応等の推進を求めるため、こうした横ぐし機能を強化することを想定しています。	2026年9月24日
2026年10月7日	26a00754000000	アフリカ地域（広域）インベストメント &イノベーションラボ（国際機関との連携円借款促進）	アフリカ部アフリカ円借款課	本業務において、Af DB・世界銀行との連携以外に、他ドナーや民間企業、政府機関との調整も想定されていますでしょうか。	想定しています。詳細は公示掲載後にご確認ください。	2026年9月24日
2026年10月7日	26a00754000000	アフリカ地域（広域）インベストメント &イノベーションラボ（国際機関との連携円借款促進）	アフリカ部アフリカ円借款課	「業務内容（3）の「具体的な協調融資、ODA事業等に係る案件企画・実施に関する支援」では、融資の対象セクター（運輸、電力、水道、農業など）の技術的な専門性があることをご想定でしょうか？求められる場合は、専門知識のレベル感をご教授ください。	各分野の技術にかかる専門性よりも、国際機関の案件形成を把握したうえで、スムーズな協調融資の策定に貢献いただくことを期待します。	2026年9月24日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	語学評価におけるスペイン語と英語の比重はどう考えているか？	評価対象者の語学能力は、スペイン語で評価する予定です。	2026年10月1日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	パイロット校における介入として、調理場の改修・整備や学校菜園の設置を想定されていますか	調理場の改修や整備などの大規模な介入ではありませんが、調理に必要な機材調達を想定しています。学校菜園については、食育の一環として、その有用性を試行することは想定されますが、事業実施中に農業省とも調整しつつ、検討していく必要があると考えています。	2026年9月15日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	C/P機関は教育省であり、主要なC/Pは教育コミュニティ強化総局（General Directorate for Strengthening the Educational Community）との理解でよろしいでしょうか。または、対象となる2県の教育省県事務所になりますでしょうか。	主要なC/PIは、教育省に加え、以下の想定です。詳細は公示資料をご確認ください。 ・教育コミュニティ強化総局（DIGEFOCE:General Directorate for Strengthening the Educational Community） ・地域社会参加・支援サービス総局（DIGEPSA:General Directorate of Community Participation and Support Services） ・対象県の教育省県事務所（DEFOCE）	2026年9月16日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	本案件では、ガイドや研修パッケージの作成に加え、政策・法制度への提案や他県展開も成果として設定されておりますが、プロジェクト終了時点で期待される制度化のレベルについてお聞かせください。	プロジェクト終了時点では、各種ガイドラインの承認とパイロット校での給食運営及び食育の実践経験が蓄積されて、対象県内の学校、並びに他県への展開が出来る状態を想定しています。	2026年9月16日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	（上記に類似） 「学校給食に係る政策・制度への提言」が期待されていますが、教育省の人事や長いプロセスに依存する承認までは求められていないとの理解でよろしいでしょうか。 仮に承認までを想定されている場合は、承認に至るまでのプロセスや必要期間について、現時点で把握されている範囲をご教示ください。	本プロジェクトでは、承認までを想定しています。 具体的な承認プロセスは受注者決定後にグアテマラ事務所も交えて相談するとともに、案件開始直後から承認プロセス及びスケジュール等をC/Pと協議いただくことを想定しています。	2026年9月16日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	対象2県は文化的背景が大きく異なると考えられますが、これら2県が対象として選定された背景をお聞かせください。	首都からのアクセスや過去のJICA支援のアセットがある県を選択しました。	2026年9月16日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	パイロット校の選定基準や想定校数について、現在想定されている方向性がありますか。また、調理設備の有無や地域特性はどの程度考慮される想定でしょうか。	パイロット校の選定は、案件開始直後のベースライン調査結果をもとに決定します。また、パイロット校は、約10校/県の想定です。	2026年9月16日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	「校長、教員、保護者会等を対象としたカスケード研修も展開する」とありますが、研修対象者は交代や異動がなく、少なくともプロジェクト実施期間中は研修受講者が学校給食の管理・運営を行うことが可能でしょうか。	研修受講者の適切な配置やプロジェクト活動への従事は前提ともなることですので、C/P機関とも留意したいと考えます。	2026年9月16日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	教育省に加え、保健省、農牧食糧省、食料安全保障庁等が関与する案件ですが、詳細計画策定調査の過程で確認された省庁間連携上の課題や留意点があればお聞かせください。	公示資料をご確認ください。 衛生管理分野における保健省、食材調達分野における農牧食糧省、および栄養分野の調整を担う食料安全保障庁との連携を想定します。	2026年9月16日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	人月合計は約60人月とありますが、渡航回数は何回を想定していますか。	3年間で15回程度を想定しますが、業務従事者のうちおひとりは1回の渡航につき10人月以上の現地滞在を希望します。	2026年9月16日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	想定される日本人専門家の人数について、現時点での想定があればご教示ください。 プレ公示では「学校給食、栄養に係る専門性」が求められていますが、そのほかに重視される専門性はありますか。	3名を想定します。 その他の専門性は、特にありません。	2026年9月16日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	日本人専門家に求められる業務言語は何を想定されていますか（英語・西語等）	公用語であるスペイン語と、業務上必要な英語を想定します。	2026年9月16日

公示予定日	調達管理番号	案件名	担当部・課	質問内容	回答	回答日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	業務管理グループ(若手加点)の適用は想定されていますか。	想定しています。	2026年9月16日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	想定されている格付けはありますか。	業務主任者は、3号を目安とする予定です。	2026年9月16日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	主な執務場所はどこが想定されていますか。首都の教育省か、対象2県の県事務所のいずれでしょうか。	首都の教育省を想定しています。	2026年9月16日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	本案件は3年間の実施と理解していますが、2段階(調査と調査結果から変更された計画に基づいた活動)で進めることを想定されています。2段階での実施が想定されている場合、計画見直しまでの期間とその後の活動期間はどのような配分を想定されていますか(例:1年と2年等)	2段階の実施ではありません。	2026年9月16日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	今回の対象年齢には4-6歳も含まれているが、初等前教育の児童も食育の対象になるのか？	学校によっては、初等前教育と初等教育が併設されており、その場合は同じ給食が提供されています。初等前教育の児童を積極的なターゲットにはしませんが、同じ施設に初等前教育の児童も在籍する場合には、対象から排除せず、給食運営、食育の対象とします。	2026年9月16日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	現時点で、本プロジェクトの対象校は決定していますでしょうか。決定している場合は、対象校数、学校名、所在地(県・市等)など、学校情報について可能な範囲でご教示いただけますでしょうか。	他の質問で回答しておりますので、ご参照ください。	2026年9月28日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	現地業務において使用する車両については、車両借上げ(レンタカー)による対応を想定されていますでしょうか。現時点で想定されている車両の調達・使用方法がございましたら、ご教示ください。	プロジェクト用の車両を調達予定です。プロジェクト車両が使用中に移動する場合等は、レンタカーの使用を想定します。	2026年9月28日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	本案件は、業務管理グループを配置することが可能な案件との理解でよろしいでしょうか。	はい、ご理解のとおりです。	2026年9月28日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	主要なG/P部署(中央と地方)はどこになるか可能な範囲でご教示いただけますでしょうか。	他の質問で回答しておりますので、ご参照ください。	2026年9月28日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	定額計上として予算に計上されるものはありますでしょうか。その内容、予算規模、使用目的など可能な範囲でご教示いただけますでしょうか。	給食運営に必要な機材(調理器具等)の調達を想定しています。詳細は公示資料をご確認ください。	2026年9月28日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	対象地域がチマルテンango県、トtoniカバン県の二か所が挙げられておりましたが、二県とも同じ比重で活動を実施するという理解でよいでしょうか。それとも、軽重があり、貴機構としてより力を入れたい県がありましたらご教示ください。また、可能な範囲でその意図を共有いただけますとありがたいです。	現時点では、2県とも同程度の比重での活動を想定しています。	2026年9月28日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	本プロジェクトでは、対象地域二県全域をカバーすることになるでしょうか。それとも県内の複数市やコミュニティを対象とするかご教示いただけますでしょうか。	県内の給食運営や食育に関するパイロット対象校を設定して、活動を進める予定です。詳細は公示資料をご確認ください。	2026年9月28日
2026年10月14日	26a00772000000	グアテマラ国学校給食事業実施強化プロジェクト	人間開発部保健第一グループ	本邦研修は想定されておりますか。もし想定されている場合は、規模や時期、ねらい等可能な範囲でご教示等いただけますでしょうか。	本邦研修は実施予定です。現時点の想定は以下のとおりですが、そのほか詳細は公示資料をご参照ください。 規模:10名程度 時期:2027年4-6月ごろ 狙い:日本の給食・食育制度への理解を深めるとともに、研修で得られた知見をグアテマラの文脈に即した適用方法を検討し、本事業の成果物に反映させるため。	2026年9月28日
2026年10月21日	26a00703000000	ラオス国2015-2018年の成果を対象としたREDD+成果支払いーラオス南部におけるガバナンス、森林ランドスケープ及び生計手段プロジェクト(JICA Co-EE分)	球環境部森林・自然環境保全グループ	JICA Co-EE分の契約スコープは活動1.6・2.10・3.4の3つのみで、MAE-EE側(1.1-1.5、2.1-2.9、3.1-3.3)は本契約の対象外という理解でよいか。	FPIにおける予算としてはJICA Co-EE分は活動1-6、活動2-10、活動3-4が振り分けられておりますが、本業務契約はMAE-EEが実施する活動すべてを支援し、プロジェクトの全体管理を行います。	2026年9月30日
2026年10月21日	26a00703000000	ラオス国2015-2018年の成果を対象としたREDD+成果支払いーラオス南部におけるガバナンス、森林ランドスケープ及び生計手段プロジェクト(JICA Co-EE分)	球環境部森林・自然環境保全グループ	上記活動1.6・2.10・3.4の合計約1,487万ドルが本業務実施契約(7年・260人月)の原資総額と理解してよいか。	回答1の通り、本業務契約は活動1-1~3-4すべてのプロジェクト活動においてMAEを支援することを業務内容としており、FPIにおける活動毎の予算(活動1-6、活動2-10、活動3-4)は上記業務内容に充てられます。	2026年9月30日
2026年10月21日	26a00703000000	ラオス国2015-2018年の成果を対象としたREDD+成果支払いーラオス南部におけるガバナンス、森林ランドスケープ及び生計手段プロジェクト(JICA Co-EE分)	球環境部森林・自然環境保全グループ	別途Section Gに計上されているTable25の「Fee for project management consultants」(2,075,956ドル)とこの1,487万ドルの関係をご教示願いたい。	Fee For Project Management Consultantsは事業費とは別にラオス側が活用する事業管理費に含まれる資金であり、JICA-Co EE側に割り当てられる金額には含まれません。	2026年9月30日
2026年10月21日	26a00703000000	ラオス国2015-2018年の成果を対象としたREDD+成果支払いーラオス南部におけるガバナンス、森林ランドスケープ及び生計手段プロジェクト(JICA Co-EE分)	球環境部森林・自然環境保全グループ	活動1.6・2.10・3.4はそれぞれOutput1・2・3に対応する技術支援と理解するが、各活動内で特に注力すべきサブアクティビティがあればご教示願いたい。	業務内容の詳細は公示を確認いただければと思いますが、回答1の通り基本的にすべての活動を支援いただくことになるため、活動の重要性にかかる濃淡は現時点でございません。	2026年9月30日

公示予定日	調達管理番号	案件名	担当部・課	質問内容	回答	回答日
2026年10月21日	26a00703000000	ラオス国2015-2018年の成果を対象としたREDD＋成果支払いーラオス南部におけるガバナンス、森林ランドスケープ及び生計手段プロジェクト（JICA Co－EE分）	球環境部森林・自然環境保全グループ	また、GoL側の事情によって進捗しない活動について、本コンサルタントチームがどこまで責任を持つべきかの責任範囲の線引きについてお伺いしたい。	実施機関側で進捗が思わしくない活動等について、課題の特定やボトルネック解消等、受注者が最大限可能な支援をすることを受注者には求められますが、受注者のこうした支援に関わらず実施機関側の事情で一向に活動に進捗が生まれない場合は、JICAがGCFと協議のもと活動内容の変更等の措置をとることが考えられます。	2026年9月30日
2026年10月21日	26a00703000000	ラオス国2015-2018年の成果を対象としたREDD＋成果支払いーラオス南部におけるガバナンス、森林ランドスケープ及び生計手段プロジェクト（JICA Co－EE分）	球環境部森林・自然環境保全グループ	契約初年度にJICA Co-EEとして求められる具体的成果物および提出期限についてお伺いしたい。	公示をご確認ください。	2026年9月30日
2026年10月21日	26a00703000000	ラオス国2015-2018年の成果を対象としたREDD＋成果支払いーラオス南部におけるガバナンス、森林ランドスケープ及び生計手段プロジェクト（JICA Co－EE分）	球環境部森林・自然環境保全グループ	本業務の履行期間において、後継のFREL/FRLの策定・提出、国家森林資源調査の再測定、および国家森林モニタリングシステム（PDMS／OLDM等）・カーボン取引レジストリの整備に対する技術的支援は、本業務の対象に含まれる想定でしょうか。含まれる場合、業務内容1～3のいずれに位置づけられるかを教えてください。	記載いただいた支援内容は、順に成果1・成果2・成果1及び2・成果1に係る活動に含まれる予定です。	2026年9月30日
2026年10月21日	26a00703000000	ラオス国2015-2018年の成果を対象としたREDD＋成果支払いーラオス南部におけるガバナンス、森林ランドスケープ及び生計手段プロジェクト（JICA Co－EE分）	球環境部森林・自然環境保全グループ	Landscape1（サウンナケート）において、F-REDD2プロジェクトで作成済みプロトタイプ管理計画は、本事業でそのまま採用する方針か。成果物一式は入札前に開示可能か。	本プロジェクトにおいて同プロトタイプ管理計画を活用することも想定されます。成果物一式は受注者の契約後に共有可能です。	2026年9月30日
2026年10月21日	26a00703000000	ラオス国2015-2018年の成果を対象としたREDD＋成果支払いーラオス南部におけるガバナンス、森林ランドスケープ及び生計手段プロジェクト（JICA Co－EE分）	球環境部森林・自然環境保全グループ	世銀の北部向けGFLLプロジェクトやGIZ/GCFのI-GFLLプロジェクトで作成された既存マニュアル類（Project Operational Manual、財務・調達マニュアルなど）は流用前提か、南部向けに新規作成が必要か。	マニュアル類は他ドナーの事業で作成されたものを参照しつつ、本プロジェクトの活動内容に合わせた内容で作成することを想定しております。	2026年9月30日
2026年10月21日	26a00703000000	ラオス国2015-2018年の成果を対象としたREDD＋成果支払いーラオス南部におけるガバナンス、森林ランドスケープ及び生計手段プロジェクト（JICA Co－EE分）	球環境部森林・自然環境保全グループ	南部で並行する他ドナー事業（世銀、WWF、GEF/UNDP、ADBなど）との役割分担・重複回避について現時点の合意状況についてご教示願いたい。	主にUNDP、WWFとは役割分担や対象地の重複回避に係る協議を進めております。正式な合意までは現時点では至っておらず、本プロジェクトにおいてそうした他ドナーとも適宜協議・調整をしていくことを想定しております。	2026年9月30日
2026年10月21日	26a00703000000	ラオス国2015-2018年の成果を対象としたREDD＋成果支払いーラオス南部におけるガバナンス、森林ランドスケープ及び生計手段プロジェクト（JICA Co－EE分）	球環境部森林・自然環境保全グループ	求められる専門分野別に想定する人月配分イメージをお伺いしたい。	いずれの分野も40～50人月を想定しており、特にセーフガード、森林管理、生計向上、財務・調達は人月が比較的高くなる想定です。	2026年9月30日
2026年10月21日	26a00703000000	ラオス国2015-2018年の成果を対象としたREDD＋成果支払いーラオス南部におけるガバナンス、森林ランドスケープ及び生計手段プロジェクト（JICA Co－EE分）	球環境部森林・自然環境保全グループ	現地拠点への駐在・巡回体制の要求水準をお伺いしたい。	本業務実施契約のコンサルタントの主要メンバーによる現地長期滞在は想定しておらず、日本国内・現地の両方における活動を想定しております。ただし、プロポーザルで適当な体制を提案いただければと考えております。巡回体制に関しては、特に成果2において南部の村落レベルでの活動が大規模に行われることから、現地傭人の適切な配置や十分な人月設定が必要と考えております。	2026年9月30日
2026年10月21日	26a00703000000	ラオス国2015-2018年の成果を対象としたREDD＋成果支払いーラオス南部におけるガバナンス、森林ランドスケープ及び生計手段プロジェクト（JICA Co－EE分）	球環境部森林・自然環境保全グループ	Funded Activity Agreement（2026年4月9日執行）を受けたSubsidiary Agreement（JICA-MAE間）の締結見込み時期、およびそれに続くInception Phase開始時期、またそれと本契約履行期間との整合性についてお伺いしたい。	補助契約（SA）は2026年8月24日に締結されました。また2026年9月にFAAが発効したことにより契約上事業は開始しております。本契約履行期間は事業期間と概ね一致しますが、手続きの関係上、多少前後しております。	2026年9月30日
2026年10月21日	26a00703000000	ラオス国2015-2018年の成果を対象としたREDD＋成果支払いーラオス南部におけるガバナンス、森林ランドスケープ及び生計手段プロジェクト（JICA Co－EE分）	球環境部森林・自然環境保全グループ	通常の業務実施契約より著しく長期間であるため、人件費単価や物価変動、専門家交代が不可避と考えられる。本契約は単年度ごとの予算承認や契約更新を前提とするのか、それとも7年間の一括契約なのか。また、物価上昇や為替変動に伴う契約金額見直し（Price Adjustment）の考え方を確認したい。	本業務契約は、活動期間内における物価変動・人件費単価・為替変動等を考慮し、2年・2年・3年の期分けを想定しております。また為替変動等によるプロジェクト資金の過不足も発生し得ることから、業務開始後、予算管理状況を踏まえて必要な契約の見直しを、資金元であるGCFの判断等を踏まえつつ検討する想定です。	2026年9月30日
2026年10月21日	26a00703000000	ラオス国2015-2018年の成果を対象としたREDD＋成果支払いーラオス南部におけるガバナンス、森林ランドスケープ及び生計手段プロジェクト（JICA Co－EE分）	球環境部森林・自然環境保全グループ	本案件はGCF REDD+成果払い事業として実施されるため、通常のJICA技術協力案件以上の財務報告、外部監査、情報開示義務が課される可能性がある。コンサルタントに求められる報告義務・監査対応・証憑管理の範囲はどこまでか。GCF独自ルールが適用される場合、その責任分担を明確化してほしい。	GCFとJICA間の合意内容により各報告書の提出義務や情報開示義務があります。具体的には公示を確認いただければと思いますが、JICAがGCFに対して提出する書類等の種類や提出期限、様式など定められたものがあります。本業務にはそれら書類に関してMAE等ラオス側と連携しながら作成・提出支援することが含まれます。	2026年9月30日
2026年10月21日	26a00703000000	ラオス国2015-2018年の成果を対象としたREDD＋成果支払いーラオス南部におけるガバナンス、森林ランドスケープ及び生計手段プロジェクト（JICA Co－EE分）	球環境部森林・自然環境保全グループ	GCF案件では実施機関側の調達遅延や制度整備の進捗に影響される場合がある。本事業において、ラオス側の予算執行やGCF資金フローの遅延が発生した場合の契約変更、工期延長、追加費用精算の取り扱いを確認したい。受注者がコントロールできない要因による成果遅延リスクの負担主体を明確化したい。	実施機関側の調達遅延や予算執行遅延が発生した場合、JICAとGCFの間で合意しているプロジェクト内容の変更や期間の延長などが考えられます。その場合は上記の変更に伴う受注者とJICA間の契約変更も考えられます。	2026年9月30日
2026年10月21日	26a00703000000	ラオス国2015-2018年の成果を対象としたREDD＋成果支払いーラオス南部におけるガバナンス、森林ランドスケープ及び生計手段プロジェクト（JICA Co－EE分）	球環境部森林・自然環境保全グループ	業務内容には「財務・調達管理に係る技術支援」が含まれている。一方で、受注者は助言・能力強化を行う立場なのか、実際の調達・資金管理に対して一定の承認責任や確認責任を負うのかが不明である。不正・不適切支出が発生した場合の責任分担を明確にしてほしい。	受注者は実施機関への技術的な支援によって資金・調達管理等が適切に行われることを促進することを業務内容としております。実施機関の過失による不正・不適切支出が発生した場合は、実施機関とJICA間で締結している補助契約（SA）に基づき実施機関に対する特定の措置がなされます。一方で受注者に課せられた業務の不履行においては、発注者（JICA）・受注者間の契約約款で定められた措置に従います。	2026年9月30日
2026年11月4日	26a00779000000	ウガンダ国送变电網事故解析能力強化計画協力準備調査（QCBSーランプサム型）	無償資金協力部業務第六課	無償案件の調達対象は機材のみですか。建屋等の建築設備は含まれないですか。	本案件で想定される調達対象は機材のみ（その据え付け工事を含む）であり、基本的に建築設備は含まれません。ただし協力準備調査において既存建物およびその設備に対してその移設・増設・撤去・復旧の必要性が認められる場合は調査時にご提案頂くようになるかと思われます。	2026年9月25日
2026年11月4日	26a00779000000	ウガンダ国送变电網事故解析能力強化計画協力準備調査（QCBSーランプサム型）	無償資金協力部業務第六課	機材の導入のみの場合、設置先はカウンターパートの既設設備（変電所等）の内部でしょうか。	機材の導入場所はカウンターパートの既設設備の内部となりますが、本案件において詳細を確定していくことを想定しています。	2026年9月25日

公示予定日	調達管理番号	案件名	担当部・課	質問内容	回答	回答日
2026年11月4日	26a00779000000	ウガンダ国送变电網事故解析能力強化計画協力準備調査(QCBSーランプサム型)	無償資金協力部業務第六課	機材の導入地点は、何か所くらいを想定されていますか。	現状、大カンバラ広域圏及び周辺5県(リラ県、ソロティ県、マサカ県、ムバララ県、イガンガ県)における13変電所を想定しておりますが、先方実施機関と優先順位や妥当性を協議の上、本案件において詳細を確定していくことを想定しています。	2026年9月25日
2026年10月21日	26a00799000000	インド国チェンナイ地下鉄建設事業(フェーズ2追加路線)準備調査(QCBSーランプサム型)	南アジア部南アジア第一課	提示されている「人月合計」は、貴機構並びに現地政府(貴機構経由)からの資料提供が業務開始前あるいは業務開始中に提供されるという前提でしょうか。提示される資料及び提供時期は公示時点で提示されますでしょうか。	回答準備中です。	2026年10月7日
2026年10月21日	26a00799000000	インド国チェンナイ地下鉄建設事業(フェーズ2追加路線)準備調査(QCBSーランプサム型)	南アジア部南アジア第一課	その他留意事項の欄に「業務開始後に事業計画の大幅な変更が生じた際には、契約変更の可能性を相談させて頂く場合があります。」と記述されておりますが、想定される「大幅な変更」にはどのような事項が含まれるでしょうか。また「大幅な変更」でなければ契約変更の可能性が無いという事でしょうか。	回答準備中です。	2026年10月7日
2026年10月21日	26a00799000000	インド国チェンナイ地下鉄建設事業(フェーズ2追加路線)準備調査(QCBSーランプサム型)	南アジア部南アジア第一課	本事業に対する有償資金協力Loan Agreementの締結に関して、現在想定されている時期はございますでしょうか。	回答準備中です。	2026年10月7日
2026年10月21日	26a00799000000	インド国チェンナイ地下鉄建設事業(フェーズ2追加路線)準備調査(QCBSーランプサム型)	南アジア部南アジア第一課	本事業の対象範囲(約90km)に関する既存または実施中の環境社会配慮の状況についてご教示頂けますでしょうか。	回答準備中です。	2026年10月7日
2026年10月21日	26a00805000000	中東地域におけるエネルギー輸送レジリエンスへの対応策に係る情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式-ランプサム型))	中東・欧州部中東第二課	今後の協力の可能性及び案件形成については、影響を受けたインフラの復旧・拡張、もしくは代替ルートの新設のどちらを主に想定されていますでしょうか？また調査対象とする中東地域はどの範囲の国々をカバーすることを想定していますか？	①協力の可能性・案件形成の方向性については、現時点では、検討対象を特段限定しておりません。協力対象及び支援スキームについても幅広く想定し、今後の協力の可能性を検討していく考えです。 ②調査対象国については、中東地域広域(イラク、シリア、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、カタール、オマーン、クウェート、ヨルダン、レバノン及びトルコ)を想定していますが、企画提案の中で調査の必要性を見極めた上で、適切な調査対象国・範囲を設定いただいて構いません。ただし、本件は、中東地域におけるエネルギー輸送のレジリエンスを調査することを趣旨としているため、地域全体について俯瞰的な検討が可能となるよう適切な調査範囲を設定してください。	2026年9月25日
2026年10月21日	26a00821000000	インドネシア／東南アジア水素・アンモニア社会の開発促進プロジェクト詳細計画策定調査(水素市場／政策分析	社会基盤部資源・エネルギーグループ	本件を受託した場合に後続の技術協力の受注制限はあるか	「評価分析／ジェンダー」の受注者様のみ、本体技術協力案件への参加が制限されております。「水素市場／政策分析」及び「水素技術／サプライチェーン分析」の受注者様においては本体事業への参加の制限はございません。	2026年10月2日
2026年10月21日	26a00821000000	インドネシア／東南アジア水素・アンモニア社会の開発促進プロジェクト詳細計画策定調査(水素市場／政策分析	社会基盤部資源・エネルギーグループ	業務実施単独型となっているが、複数名での業務履行は認められるか	業務実施契約(単独型)については、単独(1名)の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者による業務履行は認められておりません。	2026年10月2日
2026年10月28日	26a00773000000	初等教育における算数指導力・学習強化プロジェクト	人間開発部基礎教育グループ	共同企業体の結成を認めますか？	共同企業体の結成は可能です。詳細については、公示をご確認ください。	2026年10月5日
2026年10月28日	26a00773000000	初等教育における算数指導力・学習強化プロジェクト	人間開発部基礎教育グループ	対象郡の数と全対象学校数等の規模を教えてください。前プロジェクトで対象としていた7郡の全学校ということになるでしょうか。	対象地域は成果1については全国、成果2については全国、成果3については今のところ「初等算数授業改善のための教員指導力強化プロジェクト」の対象7郡の計35ディストリクト(暫定)を対象とします。	2026年10月5日
2026年10月28日	26a00773000000	初等教育における算数指導力・学習強化プロジェクト	人間開発部基礎教育グループ	成果1として、初等4～6学年の算数の教科書・指導書の改訂とありますが、成果2では「初等1～6学年の改訂された算数の教科書・指導書」と記載されています。1?3学年についても改訂対象となるということではないのでしょうか？	初等1～3学年の教科書については、本案件開始前にラオス教育省担当部署により改訂が完了している予定のため、成果1は初等4～6学年の算数教科書・指導書のみを対象とします。他方、成果2は、1～3学年を含みます。	2026年10月5日
2026年10月28日	26a00773000000	初等教育における算数指導力・学習強化プロジェクト	人間開発部基礎教育グループ	教科書改訂において、現行の教科書の紙面構成およびそれに伴うページ数も改訂できますか？もし改訂上の制約条件があれば教えてください。	紙面構成やページ数の改訂は可能ですが、詳しくは公示をご確認ください。	2026年10月5日
2026年10月28日	26a00773000000	初等教育における算数指導力・学習強化プロジェクト	人間開発部基礎教育グループ	導入研修を行うマスタートレーナーとは、どのような立場・経験の人材を想定していますか？それらの人材はすでに前プロジェクトで役職が与えられているのでしょうか、あるいは新しく選抜し育成する必要がありますか？	マスタートレーナーはラオス教育スポーツ省により選定されますが、今のところ計20名を想定しており、その中には教員養成校の教官が含まれる見通しです。	2026年10月5日
2026年10月28日	26a00773000000	初等教育における算数指導力・学習強化プロジェクト	人間開発部基礎教育グループ	今回のプロジェクトではTTCおよびその附属学校との連携は想定されていますか？	上述のとおりマスタートレーナーに教員養成校の教官は含まれる見通しである他、算数教科書改訂に教員養成校の教官が関わる可能性があります。今のところ成果1・2の活動において、その他にTTCやその付属校との連携は想定しておりません。成果3についてはTTCとの連携は考えうと思いますが、ラオス教育・スポーツ省の決定によりTTCの再編、国立大学への統合が行われる見込みのため、その状況によるものと思われます。	2026年10月5日
2026年10月28日	26a00773000000	初等教育における算数指導力・学習強化プロジェクト	人間開発部基礎教育グループ	「初等算数CPDシステムの改善」と書かれていますが、前プロジェクトの受注業者により導入・実施されたCPDシステムの具体的な資料や報告書は入手/閲覧可能でしょうか。また、改善案や代替案をグローバルで提案するうえで、現状のCPDシステムの課題や評価に関する各種資料の閲覧や、資料がなければ質問をすることは可能でしょうか。	「初等算数授業改善のための教員指導力強化プロジェクト」において作成された報告書等については、公示後の資料として配布を予定しています。それら資料をご覧になった上でさらに個別のご質問がございましたら、公示後の質問受付期間にお受けいたします。	2026年10月5日
2026年10月28日	26a00773000000	初等教育における算数指導力・学習強化プロジェクト	人間開発部基礎教育グループ	「初等算数CPDシステムの改善」と書かれていますので、前プロジェクトで開発・作成したCPD教材を改訂・改善等する、ということではなく、今回のプロジェクトでは、CPDシステム自体を見直し改善する、という想定で間違いないでしょうか？	本案件では、「初等算数授業改善のための教員指導力強化プロジェクト」で開発された学校ベースのCPDをもとに、その改善を目指します。詳しくは、公示をご確認ください。	2026年10月5日

公示予定日	調達管理番号	案件名	担当部・課	質問内容	回答	回答日
2026年11月4日	26a00778000000	エチオピア国都市計画開発および都市化のための能力開発プロジェクト	社会基盤部 都市・地域開発グループ	詳細計画策定調査で整理され+D84:E84た研修内容(案)の扱いについて 該当箇所:【業務内容】1~4 質問1:本事業の詳細計画策定調査では、カウンターパート(MoUI、RUPI、州都市計画局、対象都市)への聞き取り調査および現地踏査を踏まえ、研修3テーマについて、対象都市の課題に即した研修内容(案)が次のとおり整理されたと理解しています。 (A) 都市データ管理:GNSS測位・UAV・衛星データを用いた大縮尺の都市計画基本図(ベースマップ)の整備・更新、インフラ管理GIS構築、地籍・都市計画・インフラといった部局間データ共有。 (B) TOD:交通結節点(バスターミナル等)における長距離バス・乗合バス・三輪タクシー(フィーダー輸送)の動線整理、拠点間を結ぶ交通軸の規格化、ならびに上位計画(Structure Plan)および地区レベルの計画(LDP/NDP)による先回りした土地利用コントロール。 (C) スマートシティ:将来予測シミュレーションと計画策定支援・意思決定支援システム、官民の運行データを連携したターミナル運営、モバイル端末によるインフラ点検・維持管理の最適化(アセットマネジメント)。 また、詳細計画策定調査の調査対象都市における都市課題の例として、①急激な人口増に伴う交通結節点の混雑、②行政拠点と商業拠点が幹線道路1本のみで結ばれ、その沿道で無秩序な開発が進む都市構造、③部局間の調整不足による舗装直後の再掘削や排水不良といった課題に対し、上記(A)?(C)を組み合わせる優先インフラ計画案に結び付ける研修内容が整理されたと理解しています。 パイロット都市が事業開始後に選定されることを前提として、以下についてご教示ください。 (1) 本事業の研修方針・プログラム・教材開発(業務内容1)、パイロット都市での実践的な研修・演習(業務内容3)、および優先インフラ計画案の作成(業務内容4)は、上記の研修内容(案)を基本として実施することを想定されているでしょうか。 (2) 詳細計画策定調査報告書(上記の研修内容(案)を含む)は、公示時に配布資料として提供される予定でしょうか。また、指示書において、同報告書の該当部分を業務の前提として示すご予定でしょうか。	回答準備中です。	2026年10月6日
2026年11月4日	26a00778000000	エチオピア国都市計画開発および都市化のための能力開発プロジェクト	社会基盤部 都市・地域開発グループ	研修3テーマと優先インフラ計画案との関係について 該当箇所:【業務内容】1、3、4 質問:質問1の研修内容(案)では、都市データ管理で整備した基盤図・データを土台として、TODとスマートシティの手法を組み合わせ、パイロット都市の優先インフラ計画案の作成に至る一連のプロセスとして研修・演習を構成しています。本事業においても、3テーマを独立した研修モジュールとして扱うのではなく、このように一体的に設計・指導することを想定されているでしょうか。	回答準備中です。	2026年10月6日
2026年11月4日	26a00778000000	エチオピア国都市計画開発および都市化のための能力開発プロジェクト	社会基盤部 都市・地域開発グループ	業務従事者に求める専門性・実務経験について 該当箇所:【業務従事者の専門性】 質問:質問1の研修内容(案)を指導するためには、業務従事者に以下の技術に関する実務経験が必要になると考えられます。企画競争説明書において、業務従事者に求める専門性(類似業務経験の分野等)として、これらを明示する予定はありますか。 ① GNSS測位・UAV・衛星データを用いた都市計画基本図(ベースマップ)の整備・更新 ② 都市計画に関する情報を統合したインフラGISの構築・運用 ③ 将来予測シミュレーションおよび計画策定支援・意思決定支援システム ④ 交通結節点・交通軸の計画と、周辺の土地利用コントロールとの一体的な計画 ⑤ Python等によるGIS処理・業務フローのコード化(自動化)、およびモバイル端末を用いたアセットマネジメント	回答準備中です。	2026年10月6日
2026年11月4日	26a00778000000	エチオピア国都市計画開発および都市化のための能力開発プロジェクト	社会基盤部 都市・地域開発グループ	評価対象業務従事者について 該当箇所:【選定方法】企画競争 質問:評価対象とする業務従事者の担当専門分野と、業務管理グループ(副業務主任者)適用の有無について、現時点のご想定をご教示ください。	回答準備中です。	2026年10月6日
2026年11月4日	26a00778000000	エチオピア国都市計画開発および都市化のための能力開発プロジェクト	社会基盤部 都市・地域開発グループ	業務内容4の「機材」の範囲について 該当箇所:【業務内容】4 質問:業務内容4の「機材含む」について、質問1の研修内容(案)の実施に関連する機材(例:GNSS受信機・UAV等のデータ取得機材、GIS・データ解析用のPC・ソフトウェア、現場点検用のモバイル端末等)が想定されているでしょうか。あわせて、コンサルタントに求められる役割(仕様の検討、調達支援、運用指導等)についてご教示ください。	回答準備中です。	2026年10月6日
2026年10月28日	26a00837000000	全世界(広域)教育分野の無償案件の成功要因分析に基づく新規案件形成に関する基礎研究	無償資金協力部業務第四課	本調査における「教育分野の無償資金協力案件」の対象範囲及び対象期間をご教示ください。学校施設の建設・改修、教育機材整備等を主な対象としているのか、あるいは人材育成奨学計画(JDS)等の人材育成を目的とする無償資金協力も対象に含まれるのでしょうか。	本調査では、教育分野の無償資金協力案件(一般無償[施設、機材]、旧コミュニティ開発支援無償、国際機関連携無償、財政支出型無償等)を対象とすることを想定していますが、人材育成奨学計画(JDS)は対象外です。	2026年10月2日
2026年10月28日	26a00837000000	全世界(広域)教育分野の無償案件の成功要因分析に基づく新規案件形成に関する基礎研究	無償資金協力部業務第四課	現地調査(ケーススタディ)について、現時点で想定されている対象国・地域、対象国数、渡航回数及び調査期間の目安があればご教示ください。	現地調査対象国は、文献調査の結果を踏まえ、JICAと受注者が相談の上で決定する予定です。対象は3か国、調査期間は各2週間程度を想定しています。	2026年10月2日
2026年10月28日	26a00837000000	全世界(広域)教育分野の無償案件の成功要因分析に基づく新規案件形成に関する基礎研究	無償資金協力部業務第四課	「教育分野の無償資金協力案件のデータベース化」について、現時点で想定されている主な収録項目、対象案件数及び成果品の形態をご教示ください。また、作成にあたり使用を想定している特定のソフトウェアやデータベースツールがあれば、併せてご教示ください。	教育案件データベースの項目案としては、主に以下を想定していますが、具体的な設計方法・方針等については、プロポーザルで提案をしてください。 【主なデータベース項目案】 ・案件概要(国名、年度、案件名、協力額等) ・教育レベル(初等、中等、高等、TVET等) ・整備内容(施設、機材、ソフトコンポーネント等) ・実施方式(本邦企業型、現地企業活用型等) ・工期及び事業規模 ・他スキームとの連携状況(技術協力、円借款等) ・日本の技術・知見活用の有無及び内容 ・インクルーシブ教育、防災・レジリエンス、環境配慮等の付加価値要素 ・事後評価結果及び関連指標 ・維持管理・利用状況に関する情報 ・案件形成・実施上の教訓及び留意事項 等	2026年10月2日

公示予定日	調達管理番号	案件名	担当部・課	質問内容	回答	回答日
2026年10月28日	26a00837000000	全世界(広域)教育分野の無償案件の成功要因分析に基づく新規案件形成に関する基礎研究	無償資金協力部業務第四課	教育分野の無償資金協力案件の整理・分析にあたり、公開資料以外に、JICAから受注者に提供される予定の既存の案件データ、整理済み資料等があれば、ご教示ください。	参考資料として、公開資料のほか、基礎研究「現地企業活用型無償資金協力の実施状況レビュー」最終報告書等を配付予定です。	2026年10月2日